

Rotary
District 2620

よいことの
ために
手をとりあおう

UNITE
FOR
GOOD

2025-26 年度 RI メッセージ
国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツツォ氏

Weekly Bulletin

藤枝南ロータリークラブ 会報



例 会：毎週金曜日
会 場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
T E L：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内
T E L：054-646-3919 F A X：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2025-26 年度

会長：鈴木寿幸 副会長：桑原 茂 幹事：加藤智之 副幹事：杉浦 聡

例 会 第 1604 回 通常例会/小杉苑

ソング：我らの生業、浜辺の歌 ソングリーダー：増田陽子君

会 長 挨 拶

鈴木寿幸君



皆さんこんにちは、新年度となり、各委員会のセミナー等が、始まりました。

来週の 13 日（日）には、米山記念奨学委員会・米山学友総会が、長泉町の「米内山梅吉記念館」で開催され、当クラブからは、奨学生のシンシンさん、クラブカウンセラーの森竹さん、地区米山奨学委員会、副委員長の内山さんが参加をされます。

20 日（日）は、第 3 回目となります地区チームミーティングが予定されております。出席される地区幹事、各委員会のみなさま、連日の休日奉仕活動に敬意を表します。

26 日（土）には、地区会員増強セミナーが、静岡市の静岡県男女共同参画センター「あざれあ」で開催され、会員増強委員長の数野さんが参加します。

27 日（日）は、2620 地区米山奨学記念セミナーが、Zoom で開催されます。クラブ会長・クラブ米山委員長・委員と入会 3 年未満の新会員を対象に開催されます。参加予定のみなさま、お忙しいところ、ご参加くださり感謝いたします。昨年度から、藤枝南クラブの地区出向の多くのメ

ンバーが、地区役員としてセミナー等の運営をしておりますので、体調を崩しやすい季節の変わり目ですので、地区役員の皆様、お体に気を付けてください。

また、来週 16 日（水）には、親クラブである藤枝 RC に表敬訪問をしてまいります。昨年度は、漆畑直前会長が、2026 年度若林ガバナー一年度への協力をお願いし、2026-27 年度の地区副幹事として山田賀昭（よしあき）さん、平野純也さん、地区大会実行委員として、江崎晴城さん、大塚高広さんの 4 名が参加をしていただけると伺っております。今年度は、若林年度の地区大会に、実行委員として藤枝クラブの御協力いただけるよう、お願いしてまいります。

翌週の 18 日（金）には、藤枝クラブの土屋富士子会長が、当クラブに来訪予定ですので、万障お繰り合わせの上、次週 18 日の例会出席をお願いいたします。

出席報告

森下傑君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
38/47 80.85%	40/49 81.63%

（1）欠席者（事前連絡とメイクアップをどうぞ）

○秋谷君○江崎君○川口君○鈴木照君○富澤君
○中山君○古川君○渡邊芳君 早川君

食事準備数	食事提供数	残	累計残
41	40	1	2

パーフェクト例会数:

欠席連絡は、当日朝10時前までにお願いします

■ スマイルBOX

森下傑君

- ・中村、数野、望月委員長、1年間お忙しい中
よろしく願いいたします。 鈴木寿幸君
- ・6月の最終コンペで優勝させて頂きました。
ありがとうございました。 漆畑雄一郎君
- ・誕生日プレゼント有難う。 朝比奈紜君
- ・結婚記念プレゼントありがとうございました
バームクーヘン喜んでくれました。

中村博史君

スマイル累計額 235,602円

■ 委員長挨拶

財団米山委員長 望月誠君



ロータリー財団米山委員長を拝命致しました。望月誠であります。皆様、宜しくお願い致します。

委員長の挨拶とのことであります

が、まだスタートしたばかりでありますので、ロータリー財団について、調べたことを話を致します。

ロータリー財団は、皆様からのであり寄付を世界各地の奉仕活動に役立ております。

ロータリー財団の使命

ロータリー財団の使命は、ロータリークラブの会員が、人々の健康状態の改善をして、質の高い教育を提供して、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

ロータリー財団は、100年以上も前に設立されて以来、教育の支援や持続可能な成果を生み出すプロジェクトに総額40億ドル以上の資金を提供をしてきております。

寄付が世界にもたらす影響とは

ロータリー財団からの寄付により、世界に対してもたらす影響としては、わずか60セントにより、1人の子どもをポリオから守ることができます。50ドルで水を介する疾病から人々を守るため

に安全な水を提供することができます。500ドルでいじめ撲滅キャンペーンを立ち上げ、子どもたちに安全な環境を作ることができるのであります。

ロータリー財団の歴史について

1917年から、当時のロータリークラブの会長のアーチ・クランプが、世界で良いことをするための基金の設置の提案を始めたことからであります。このビジョンは、26ドル50セントが最初の寄付であり、全世界で多くの人々の人生を変える、財団として発展をしてきました。そして、現在に至っております。

ロータリー財団について

当財団は慈善活動を目的とするも公共慈善団体であり、管理委員会によって管理をされております。国際ロータリーとロータリー財団の世界本部は、米国イリノイ州エバンストンにあります。当財団の協力団体が、日本、韓国、オーストラリア、ブラジル、カナダ、ドイツ、インド、英国、に設けられております。

地区補助金について

地元や海外の地域社会のニーズに取り組む小規模で短期の活動に資金の提供を致しております。各地区は、この補助金でどの活動に資金を提供をするのか決定を致します。

グローバル補助金とは

ロータリーの重点分野において、持続可能で測定可能な成果をもたらす大規模な国際活動を支援することです。補助金提唱者は、地域社会に真にニーズに応える国際的な協力関係を築きます。グローバル補助金において、平和構築と予防紛争に5700万円、疾病予防と治療に6億2000万円、水と衛生に1億9100万円、母子の健康に1億200万円、基本的教育と識字率の向上に1億400万円、地域社会の経済発展に1億5400万円、環境支援に5900万円などがあります。これらすべてにより総額12億8700万円になります。

ロータリー財団は、地域社会と世界に影響を最大限に高めるために、具体的な活動目標を定めております。同時に、それぞれに地域社会には、独自のニーズや懸念事項があることも理解しております。グローバル補助金やその他のリソースを通じて、クラブが以下の分野に焦点を当てて奉仕活動を行えるように支援をしております。

補助金の例としては

平和構築と紛争予防は、現在、6500万人が

武力紛争や迫害によって家を追われております。複数の一流大学との連携を通じて、ロータリー平和フェローは、平和活動を連携をするスキルを身につけ、紛争を予防して、調停をするための地元指導者を研修し、紛争を受けている地域での長期的な平和構築を支援しています。ロータリー平和ロータリーセンターは、年間100名までの平和フェローを派遣しています。

疾病予防と治療は、医療費が原因で毎年1億人以上の方が、貧困に陥っております。ロータリーは、低開発地域で低料金または無料の医療へのアクセスを改善し、拡大することを目指しております。私たちの会員は、ポリオ、HIV/AIDS、マラリアなどの主要な疾病の蔓延を防ぐために、地域社会を教育して動員をしています。私たちのプロジェクトの多くは医療研修施設が、労働者の生活圏であることを保証しています。

水と衛生は、25億人以上の人々が適切に衛生施設を利用できずにいます。少なくとも3000人の子どもたちが、安全でない水が原因で、下痢性疾患で毎日命を落としております。私たちのプロジェクトは、持続可能な水と衛生設備の開発・維持をする能力を地域社会に与え水と衛生に関する研究を支援しています。

母子と健康は、毎年700万人の5歳未満の子どもたちが、栄養不良、不十分な保健ケア、不十分な衛生環境により命を落としております。この割合を少しでも減らすために、私たちは乳幼児に予防接種と抗生剤の投与を提供をして、必要な医療サービスのアクセスを改善していき、母子のために訓練を受けた医療提供者を支援しています。私たちのプロジェクトは、地域コミュニティが、医療トレーニングプログラムのオーナーシップを持てるようにすることで、持続可能性を確保しております。

基本的教育と識字率向上は、世界で6700万人の子どもたちが、教育をうけられず、7億5000万人以上の15歳以上の人々が、読み書きができません。私たちの目標は基礎教育と識字を支援する地域社会の能力を強化し、教育における男女格差を是正して、成人の識字率を高めることです。

地域社会の経済発展は、約14億人の被雇用者が、1日1.25ドルで生活をしています。私たちは、経済と地域社会の発展を促進する奉仕事業を実施し、老若男女にまともで生産的な仕事の機会を提供しています。また、貧困にあえぐ地域の

企業家やコミュニティリーダー、特に女性の強化を支援しています。

環境支援は、最も新しい奉仕の分野は、気候変動や、陸上及び海洋における持続可能な資源利用など、私たちが直面する課題に取り組み、すべての人々に貢献をすることです。

最後に、具体的なグローバル補助金の例であります、

1例目は、嵐が過ぎ去った後においてでは、ハリケーンに見舞われたプエルトリコの地域史や会の復興をするために、ロータリークラブが力を合わせております。

2例目は、明かりの力として、米国コロラド州のクラブにおいて電力の通じていない人里離れたナバホ族居住地の家庭に200以上のソーラーライトを設置致しました。

3例目は、ロータリアンである医師が、頼れる場所がない人々のために、長年においてベルリンの難民救済をする医師のボランティアネットワーク構築に身を捧げてきました。

この様に世界各地においてローバル補助金が活用されているのであります。

以上簡単ではございますが、ロータリー財団においてお話をさせていただきました。

皆様、ご清聴、誠にありがとうございます。

奉仕プロジェクト委員長 中村博史君



奉仕の理想、職業奉仕のあり方について、意義と理念を追求し会員個々の向上、地域社会の発展に努めていきます。

職業奉仕 会員全員が職業奉仕について理解し行動できるよう努める。

社会奉仕 社会奉仕の目的の再確認。

国際奉仕 市区内、他クラブの国際奉仕の調査。

青少年奉仕 藤枝南ロータリー杯を通じて、青少年の育成、交流を育む。

担当業務内容

地区補助金事業 藤枝南ロータリー杯開催（1月）

職業奉仕 移動例会（4回）

国際奉仕 米山奨学生

青少年奉仕 長期留学生（ベンス君）の受け入れ

奉仕プロジェクト委員長の大役を、皆様のお力を頂いて、全力で一年間頑張っていきたいと思っています。

エンジョイロータリーで、明るく、楽しく、元気に行動していきます。

宜しくお願い致します。

会員増強維持委員長 数野晴紀君



本年度会員増強・維持委員会委員長の数野です。よろしくお願いします。

本年度の基本方針は「同じ理念を持つ地域の会員の拡大を目指すとともに、

魅力のあるクラブを目指し、会員の維持に努める。」です。

事業計画といたしましては、ガバナー一年度に向けて、一年を通して継続的な会員拡大活動を行い目標としては5名としております。

本年度R I 会長の最優先課題は会員増強とうたっております。会員増強の活性化させるため、革新・継続性・パートナーシップを3本柱として挙げています。「すべてを同じままに保つにはすべてを変えなければならない」という言葉から革新こそが変化するこの世界に適応する手段であり、若い会員を迎え入れるだけでなく、目的や繋がりを求める年配の方々にも参加してもらうことが会長のスピーチ2ページから4ページにかけて書かれておりますので是非目を通してください。

現在、2620地区の会員は2854名います。5月までの通算では256名減、172名増となっています。74クラブあり、南クラブは49名で20位くらいの会員数です。先日地区の会員増強アンケートがあり、平均年齢や、例会の回数、会費などの質問から、委員長への質問というのがありました。今まで私が南クラブで皆様と活動させていただいたことから会長・幹事を通して回答させていただきました。

最初の質問では、「貴クラブは会員を増強するための計画を立てていますか。」というものでし

た。私の回答としては、「私たちクラブは50名の会員が維持できるように活動しております。50名は会員同士が会話も常に交わすことが出来認識できる、交流を深めることが出来る人数であると考えているからです。会員拡大として当クラブの活動に共感をもっといただける方をピックアップしておりますが、欠員が出たときに拡大活動を行っております。」といった形で報告させていただきました。

当クラブは会員拡大よりも会員維持がしっかりしているクラブだと私は感じております。例会の出席率も7,80%を常に維持できていること。親睦旅行での交流やゴルフなどの例会外の交流も多く若い会員から年配の会員まで交流がうまくできていることだと考えます。

私が入った当初は先輩方からロータリーは平等だからとお話をいただきました。南クラブは会員同士の交流がとてもよく、平等の中でも、先輩を敬い、礼儀をもって接して入れることと先輩方が若手にフランクに接してもらうことによる良い調和がとれていることがよいクラブを作っているものだと思います。

今月末「会員増強セミナー」があります。会長と参加させていただきますが、地区からの意見を聞くとともに私の考えで間違え出ないようにしたら当クラブの考えも意見していきたいと考えております。

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
7/18(金) 第1605回	藤枝RC会長挨拶	理事会
8/1(金) 第1606回	会員卓話	理事会
8/8(金) 第1607回	ガバナー補佐訪問	小杉苑
8/22(金) 第1608回	夜間例会	小杉苑



今週の一言、『好きな言葉』ですが、、、なかなか意識して考えた事はありませんが、よく使う言葉だったり、頻繁に使う言葉だったり、自分の好き

な言葉なのかあと思い、少しピックアップしてみました。

このようなオフィシャルの場で伝える言葉では、ありませんが、、、

『不純な動機が原動力』とか。これは、何気到的を得ているなあと思い、遊び心から生まれるアイデアだったりとかも、そんな事から始まるなあ実感したりしています。

大日本帝国海軍の軍人の山本五十六の有名な言葉は好きで、『やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ』です。これは職場だったり指導の場では意識している言葉であります。あとは、単純ですが『ありがとう』は、魔法の言葉だと思っていて、なかなか口に出せない当たり前の事をスマートに伝えれる人って素敵だなと思っています。

以上が今週の一言『好きな言葉』でした。



(担当/杉山茂範君)